

江南市廃棄物減量等推進協議会 令和6年度第2回会議 会議録(概要)

●日時 令和6年9月25日(水) 午後2時00分～午後3時30分

●場所 江南市消防署3階 大会議室

●出席委員(20名)

会長	石井 進	副会長	森田 英守
委員	高橋 正博	委員	佐橋 美佐子
委員	多湖 直希	委員	古田 みちよ
委員	安藤 健次	委員	柴田 広美
委員	尾関 義久	委員	岡田 吉次
委員	森ヶイ子	委員	柴田 正美
委員	早川 光明	委員	佐合 毅宏
委員	青山 稔	委員	古田 一二三
委員	梅本 孝哉	委員	安藤 晴通
委員	尾関 奈緒美	委員	黒岩 弘子

●欠席委員(5名)

委員	河合 荘太郎	委員	佐々木 聡
委員	中西 健仁	委員	秦 公輝
委員	土屋 匡史		

●事務局

環境課	課長	相 京 政 樹
環境課	主幹	稲 波 克 純
環境課	主査	牛 尾 和 司
環境課	主事	石 塚 建 伍

●会議経過

開 会

●事務局

本日は、「令和6年度第2回江南市廃棄物減量等推進協議会」を開催しましたところ、大変お忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

皆さんお揃いでございますので、只今から会議を始めさせていただきます。

それでは、今後の会議の進行を、石井会長にお願いしたいと存じます。よろしくお願いたします。

●会長

<会長挨拶>

それでは、議事に入りたいと思います。

議題①「ごみ処理基本計画の改訂について」、事務局より説明をお願いします。

<事務局説明>

ただ今、ごみ処理基本計画の改訂につきまして、事務局より説明がありましたが、ご意見、ご質問等がございましたら、ご発言をお願いします。

●会長

個人的には、プラスチックによる海洋汚染など、地球環境に繋がる問題について、いかにプラスチックごみを削減するかということが非常に重大だと考えております。もちろん他の問題も大きいですが、将来世代のために皆さんに十分認識してもらわないといけないと思います。

●事務局

今回、ごみ処理基本計画の改訂を進める中で、現在、市民アンケートを取っており、皆さんにも同じ立場でお伺いしたくて議題に挙げさせていただきました。ごみ処理基本計画にどのような視点で載せると良いか等、ご意見をいただきたいです。

●会長

これは江南市のごみ処理計画を作るうえでのアンケート調査ですよ。その結果を踏まえて市がごみ処理基本計画を作成するというので、この資料の内容は全て計画に記載する項目ばかりだと思いますが、皆さんが何を一番強く思っているかということを知り、それをどのようにごみ処理基本計画に反映させていくかという認識でよろしいでしょうか。

●事務局

今、アンケートが届いた状態でお座りいただいていると思っていただいて、お答えをお示しいただきながらの協議になればと思ったところです。例えば、問2-2の1の使い捨てプラスチック製品の問題というのは、食品リサイクルの関係でもありますが、併せてプラスチック新法にも関わることで、どのように分別を推進していくのかということもありますし、次の議題にも

なりますが、地区の資源ごみ集積場所で気になっていること等、身近な所からの観点でも構いませんので、ご意見をいただければと思います。

●委員

使い捨てのスプーンやストローは、最近無料でもらえなくなっています。今までは1回使って捨てていましたが、そういう消費生活の観点についても考えなければいけないと思います。例えば、江南市が先導して、施策の中でマイ箸やマイスプーンを推奨する運動をする等です。

もう1つは不法投棄のことで、自分の家の周りにもよく捨てられています。ごみに対する意識の低さがまだまだあるので、そのような風潮を考慮してもらいたいと思います。

●委員

まだ使えるものを簡単に捨ててしまう風潮の問題というのは、簡単に捨てているのかどうか、個人としては分かりません。資源となるものが十分にサイクルされていない問題については、今はリサイクルショップなどに持って行くと引き取ってくれるところがありますが、あまりにも安いものであれば売らずに捨ててしまおうということにもなります。アンケートの趣旨があまり理解できないのが現状です。

●委員

今日このアンケートを初めて見させていただきまして、それぞれ課題があるのだろうと思いますが、最近はさらに大きな問題として、地球環境、温暖化の問題、先日の輪島を中心とした集中豪雨など、このようなことがなぜ起きるのかという、いろいろ問題があると思います。あえて事務局にお聞きしますが、旗振り役としてやっておられる事務局として、環境問題についてどのような取組を日常生活の中で行っていますか。何か具体的にお話いただくと我々もそういうことをやればいいんだとか、企業、団体ならば、このような活動をしている企業もありますよというように、具体的に取組事例を紹介することによって、市民全体の環境問題に関する士気が高まるのではないかと思います。

また、「SDGs 未来都市・自治体 SDG s モデル事業」に、江南市が全国の中から選定されましたが、折角取り組んでいるのであれば、もっと市民にPRしてほしいです。取組の内容を詳しく知りたい

です。

#### ●事務局

私どもが環境問題についてどのような取組をしているかということをお伝えして、それを参考に市民を引っ張っていくのが良いのではないかという趣旨だったかと思いますが、基本的なことになります。ごみを出さない工夫をして、使う可燃ごみ袋を小さくする取組を推進することが分かりやすいのではないかと考えています。個人的には、家庭の可燃ごみは1週間に1回小袋1つを目標にしています。

あとは、省エネ機器への買い替えを進めて節電しています。よくある環境への対策だとは思いますが、そのようなことになります。

#### ●委員

最近、SDG s という言葉をよく聞くようになりまして、企業などもそのようなことに取り組んでいる会社は株価が上がったり、逆に取り組んでいない会社は衰退していく。プラスチックストロー1つとっても、企業の中で廃止しようという取組をしていることもありますし、逆に継続して使っている企業もあると思います。これから先のことを思うと、プラスチックの使用を削減していく取組をしていくようにと行政の方から啓発されると良いような気がします。

#### ●事務局

SDG s を企業も巻き込んで進めていくという意味においては、今後、企画課が中心となって取り組んでいくことになります。

市の今後の取組としては、SDG s 登録制度を立ち上げて、企業に登録していただき、企業と行政が連携してSDG s についての取組を進めていくという、その下地を現在作っている段階です。SDG s 未来都市として、計画の段階ではありますが、年度末にもパネルディスカッションのようなことを行いながら、これから取組を進めていこうという状況です。

また、パネルをいくつか作成して、愛知県のSDGs AICHI EXPO や、市の環境フェスタにも展示をすることを計画しています。

●委員

可燃ごみは燃やした後は埋め立てると思いますが、処分場はあとどれだけの容量を埋め立てられるのでしょうか。

●事務局

ごみ焼却場の横に最終処分場があり、残りは4割くらい空きがありますが、現在はそこに埋め立てずに衣浦港にある最終処分場などで埋め立てています。

●委員

そうすると無限にあるということですか。

●事務局

衣浦港の処分場は、海の中で囲いを作って最終処分場にしているので、そこも限りはあります。

●委員

どちらにしても限界はありますよね。そうすると必然的にごみは減らさないと、燃やした後に持って行くところがなくなりますよね。

●事務局

そういう意味で言うと、現在建設中の新ごみ処理施設は、可燃ごみを燃やして出た灰をリサイクルするという考え方になっています。

●会長

食品ロス削減のための意識調査、紙類、布類のリサイクルに関する市民の方の意識調査についても、各委員のご意見等がありましたら、ご発言いただくようお願いします。

●委員

調査した結果をまとめて数字で示していただき、その結果について問われる形であれば発言もしやすいですが、正直言ってどう答えて良いのかわからないです。

また、廃棄物処理法6条第2項の1号から5号までの事項を今後検討していく中で、どのような問題点があるのかというのをアンケートを通じて出していくというのが目的ということですね。

そうすると、ここに集まっている委員に意見を聞いても意味がないのではないかという気がし

ます。まず結果を出して、それについて検討していくという趣旨でないと、市民はどのようなことに興味があるのか分からない状態で、ここで検討するのは少し難しいと感じています。

●事務局

次の議題は、こちらが準備したものに対してご意見をお伺いするという内容ですので、もう少しご意見いただきやすいのかなと思います。繰り返しになりますが、今回は委員の皆さんにもアンケートにお答えいただく立場でご意見を求めているので、おっしゃる通り意見を出しづらいつころがあったかと思います。このアンケートの期限が昨日までで、集計した結果を本日お示しできるタイミングではなかったもので、同じアンケートを利用してワークショップのようにやらせていただこうと思いましたが、なかなかご意見は出しづらい状況であったかと思います。

●会長

紙類や布類について、前回の会議の時に可燃ごみの中に資源となる紙が多く含まれているという報告がありました。紙はリサイクルできるから可燃ごみとして出さず、資源ごみとして出してくださいという話は、布についても同じことが言えるかもしれません。ただ、1 市民として回答するのか、委員として回答するのかというところで立場が違うため、委員としてどのような意見を言えばよいのか分からないというのが本音だと思います。

●事務局

次がプラスチック製品の分別の取組についての議題となりますので、その議題についてご意見いただければと思います。

●会長

続いて、議題②「プラスチック資源循環について」、事務局より説明をお願いします。

<事務局説明>

ただ今、事務局より説明がありましたが、ご意見、ご質問等がございましたら、ご発言をお願いします。

●委員

令和7年度に向けて、プラスチック製容器包装類は、収集容器の中にポリ袋のまま入れて良い

ということですよ。昨日地区で分別に関する説明会を行ったばかりですが、資源ごみ当番は「持ち込み用のポリ袋から出して入れてください」と説明するように昨日お願いしたばかりでした。

袋に入れたまま排出する人の中には、汚れたものや容器包装類ではないものと一緒に出す人が多い気がするので、しっかりと分別されなくなってしまうのではないかと心配があります。

もう1つ、令和8年度に向けての項目で、①水まわり用品、②清掃用品、③文房具と書いてありますが、それぞれ分けて出すということなのか、容器包装の中に入れて、それも袋に入れたまま出して良いということになるのでしょうか。

#### ●事務局

まず、ここに挙げた今後の分別区分の見直しというのはあくまでも計画段階であるということをご承知おきください。このような方向性で進めていくと、新しいプラスチック資源循環促進法に則った流れになるだろうという考え方です。

令和7年度に向けて、プラスチック製容器包装類を袋のまま出せるようにするというのは、立ち当番の負担軽減という意味合いも含めた考え方です。中間処理業者に新しく破袋機が導入されることにより、袋から出す作業や細かい分別については中間処理業者にお問い合わせできる下地が整ったので、袋のまま出していただくこともできるようになったと判断し、このような案を提示しています。

そして、令和8年度に向けての項目で、①、②、③と分けているのは、品目ごとの大きな括りとして表しているもので、①、②、③の括りごとに分けて出すということではありません。資料のとおり品目を指定して、プラスチック製容器包装類と一括で収集することを検討しています。

令和10年度に新ごみ処理施設ができますが、現在より焼却できる能力が上がりますので、廃プラの中から100%プラスチック製品だけを抜き出して、プラスチック製容器包装類と一括で収集し、革製品やゴム製品は焼却するように変更すると、廃プラの分別区分がなくなり、分別区分をスリム化することが可能ではないかと思っています。

#### ●委員

袋のまま出せるようにすることを令和7年の1月から実施するのは、もう3か月しかないので、

ごみを出すのは楽になるからできないことはないのかもしれないですが、ちょっと拙速ではないかと思います。もう少し市民への周知期間が必要ではないかと思います。

●事務局

1月から試行で実施するという方法もあります。

●委員

私の地区の場合は、ほとんどが持ち運び用の袋に入れて持ってきます。ポリ袋に入れたまま出されるとかさばって収集スペースの確保が難しいと思います。

●事務局

絶対に袋に入れて出してくださいということではないので、その点は誤解を招かないように周知する必要があると思っています。

●委員

今の議論について、私は賛成です。立ち当番は必要だと思っていますが、高齢者や子育て世代には少し配慮が必要なのはそのとおりだと思います。必要だけれども負担を減らしたいというのは皆さんも思われているところだと思いますので、負担が減る方向で見直すことには賛成です。すぐにでもやっていただきたいくらいです。どんな袋で持ってくるかは人それぞれ違うかと思えます。最初から分別した状態で持ってくる人もいれば、集積場所で分別される人もいます。

6月に、トレイ、発泡スチロールをプラスチック製容器包装類と一緒に入れるという変更がありました。当初は区民の方から容積が増えて容器が足らなくなるかという話が出ました。

しかし、実際には問題なく運営ができました。あれもひとつの負担軽減なので、今回も負担軽減という目的に沿って進めばとても良いことですし、市民の方にも受け入れられやすいのではないかと思います。

●会長

続いて、議題③「南部リサイクルステーションの受入品目について」、事務局より説明をお願いします。

<事務局説明>

ただ今、南部リサイクルステーションの受入品目につきまして、事務局より説明がありました  
が、ご意見、ご質問等がございましたら、ご発言をお願いします。

●委員

私は布袋に住んでいますので、南部リサイクルステーションが開設されたことは非常にありが  
たかったです。今後、中型ごみや埋立ごみも受け入れてもらえることになるのなら大賛成です。

電化製品に関しては、パソコンやその類のものも出せるようになりますか。

●事務局

パソコンは、中型ごみとは別で収集しておりますので、今回は対象外です。

●委員

南部リサイクルステーションの利用率はどのようになっていますか。私が行くときは多く利用  
されているのですが、収集量や、利用率は把握されていますか。

●事務局

南部リサイクルステーションは、今年度の4月に運用を開始してから5か月が経ちました。

運用開始当初の利用者は1,000人弱でしたが、そこからおよそ100人単位で増えていまして、  
今は月1,300人くらいの利用があります。日・月・火曜日の開設ですので、当然、日曜日の利用  
が一番多いですが、多い時は1日で約250人となっています。

現在の南部リサイクルステーションは、半分を収集スペース、半分を保管スペースということ  
で運用を開始しましたが、実際にはそれぞれ余裕があることがわかってきました。

この余剰スペースで中型ごみと埋立ごみを受け入れることが可能ではないかという判断をして  
いるところです。

埋立ごみは、蓋つきのコンテナボックスに出すようにしていただき、中型ごみは、地面に直置  
きしていただくことになるかと思いますが、乱雑な出し方にならないように仕切りを用意する等、  
外観にも配慮した収集方法を検討しているところです。

●会長

その他、ご意見はございませんか。無いようですので、次にまいります。

3. 「その他について」、事務局から何かあれば説明をお願いします。

①市制70周年記念こうなん環境フェスタの開催について

<事務局説明>

●会長

私も環境フェスタの委員になっておりまして、リサイクルも大きなテーマになっております。各リサイクル会社の展示もあり、リサイクルについての意識を小学生や中学生の方に持ってもらうという目的もあるイベントです。こういう形でリサイクルが推進されるとありがたいと思っています。

②剪定枝・草の臨時収集について

<事務局説明>

●委員

収集方法はどのような方法になりますか。

●事務局

布袋北部学供の収集場所に設置したフレキシブルコンテナバッグへ直接入れていただくという形です。

●委員

臨時収集していただくのは良いのですが、収集箇所数を増やしていただくことはできないでしょうか。もう少し場所を増やすと収集量も増えるのではないかと思います。

今年は猛暑で草が多く出ているので、地区の集積場所での収集も限界があります。この時期にやっていただくのは非常にありがたいですが、北部リサイクルステーションから遠いところに住んでいる人もいますし、1週間に1度ではたくさん持って行くこともできないので、もう2、3か所増やしていただくとうれしいと思う人も多いと思います。

●事務局

剪定枝・草に限らず、リサイクルステーションをもっと増やしてほしいという内容でご意見をいただくこともありますが、どうしても場所や人件費の問題があります。まずは、今回の剪定枝・草の臨時収集を試行させていただくということでご理解いただければと思います。

ご意見としては承りますので、よろしく申し上げます。

●会長

これもちまして、第2回江南市廃棄物減量等推進協議会を終了させていただきます。

本日は、長時間にわたりご審議を賜りありがとうございました。